

2026年2月10日
公益財団法人イオン環境財団

第3回イオンSATOYAMAフォーラム開催

— 里山・地域コミュニティがもつレジリエンスを考える —

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田 元也 イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長 以下当財団）は、2月18日（水）、東京都渋谷区の国連大学において「第3回イオンSATOYAMAフォーラム」を開催します。

当財団は、1990年に日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として設立され、アジアを中心とする世界各地で環境活動を展開しています。現在、複数の大学と連携し、SATOYAMAの再生や保全・利活用に取り組んでいます。

本フォーラムでは、自然災害の頻発や地域社会の変化を背景に、里山や地域コミュニティがもつ「レジリエンス（回復力）」に着目し、持続可能な地域づくりの在り方を考える場として開催します。

東北大学副学長で災害科学国際研究所の今村文彦教授による基調講演をはじめ、当財団が連携する各大学の研究成果や、被災地で活動する団体・自治体の実践事例を共有し、防災・減災、復旧・復興、里山保全の視点から意見交換を行い、自然と共生する地域社会の未来像を探ります。

当財団は、次代を担う子どもたちに豊かな自然を引き継ぐことを目指し、今後も里山づくりをはじめとする環境活動を、地域社会と連携しながら積極的に取り組んでまいります。

記

テーマ	里山・地域コミュニティがもつレジリエンス
開催日時	2026年2月18日(水)10:00~15:30
開催会場	(会場)国連大学3階ウ・タント国際会議場 (オンライン)Zoomウェビナー
参加者	会場定員 300名
プログラム	<p>第1部 (10:00~12:00)</p> <p>●基調講演</p> <p>東北大学副学長 災害科学国際研究所教授 今村 文彦 一般社団法人のと復耕ラボ 代表理事 山本 亮 長崎県南島原市みんなの森守協議会 理事 内田 繁治 宮崎県綾町役場 ユネスコエコパーク推進室係長 河野 円樹 大阪公立大学大学院 理学研究科教授 竹内 やよい</p> <p>第2部 (12:45~15:30)</p> <p>●連携大学による2025年度活動紹介とパネルディスカッション ●イオンモール仙台上杉の事例紹介</p>
主催	公益財団法人イオン環境財団
後援	環境省
協力	国連大学 サステイナビリティ高等研究所

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客様を原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」というイオンの基本理念のもと岡田卓也（名誉理事長 イオン株式会社 名誉会長相談役）により日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として1990年に設立されました。以来、「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業活動を中心に活動しています。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

（イオン環境財団HP：<https://www.aeonkankyozaidan.or.jp/>）

【大学連携】（連携順）

大学名 連携年	連携内容	活動の様子
東京大学 (2017年)	【イオン東大里山ラボ】 2017年から行われた「イオン未来の地球フォーラム」を背景に、2022年より未来ビジョン研究センターと連携し、里山シンポジウムの開催など里山・地域課題に関する共同研究を展開しています。	 里山まつり (神奈川県)
早稲田大学 (2020年)	【AEON TOWAリサーチセンター】 時代に即した環境課題の解決を目的に設立。教育・研究・人材育成の連携を通じて、持続可能な地域づくりや多世代参加型の里山活動の社会実装に取り組み、里山シンポジウム・里山フォーラムを開催しています。	 綾町イオンの森 (宮崎県)
東北大学 (2021年)	【イオン防災環境都市創生共同研究部門】 災害科学国際研究所、イオンモール株式会社、当財団の3者協定に基づき設立。災害科学や環境都市づくりの知見を活かし、防災・減災および地域レジリエンス向上を目的とした産学官連携の共同研究を推進しています。	 仙台防災未来フォーラム (宮城県)
京都大学 (2022年)	【新しい里山・里海共創プロジェクト】 京都大学フィールド科学教育研究センターと連携し、里山・生態系と地域社会の関係性に着目した研究・教育を推進。フィールドを活用した実践的な研究・教育を通じ、自然と人の関わりを基盤とした持続可能な社会づくりに取り組んでいます。	 畠島ビーチクリーン (和歌山県)
千葉大学 (2022年)	千葉大学大学院園芸学研究科と連携し、「君津イオンの森」をフィールドとして、都市緑地、森林再生、里山保全に関する実践的な研究を進めています。	 君津イオンの森 (千葉県)
国連大学 (2024年)	【Global Youth MIDORI platform (GYM)】 国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)と連携協定を締結。国際的な視点から生物多様性分野の人材育成を推進しています。また、国連大学が管轄するIPSI (SATOYAMAイニシアティブ)会員としても連携を重ねています。	 生物多様性COP16・気候変動COP29ユース報告会 (東京都)

■イオンSATOYAMAフォーラム

第1回

2023年12月12日、「里山がもつ新たな価値創造＝ネイチャーポジティブとウェルビーイング」をテーマに開催されました。東京大学未来ビジョン研究センターの武内和彦氏による基調講演のほか、参加大学の共同研究発表や意見交換が行われました。



第1回 2023年12月

第2回

2025年2月18日、「みんなで考えつくる ー新しいSATOYAMA（里山）ー」をテーマに、宮崎県綾町のSATOYAMAづくり事例紹介、京都大学フィールド科学教育研究センターによるSATOYAMAに関する研究や実践内容の発表、参加大学によるSATOYAMAの未来に関する意見交換・パネルディスカッションが行われました。



第2回 2025年2月